

| 分野 | 専門分野 | 科目名 単位（時間） | 地域・在宅看護概論 1 単位(15 時間) | 授業 形態 | 講義 | 開講 時期 | 1 年 前期 | | | |
|-------------|--|---------------|--------------------------|----------|---------|----------|-----------------------|--|------|---|
| 講師名 所属 | 山口 善子 活水女子大学 看護学部 講師 井上 高博 名古屋市立大学 | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 地域・在宅看護論では、地域で生活する人びとの暮らしの理解を深め、地域のあらゆる場で生活するあらゆる人びと、あらゆる健康レベルにある個人・家族、集団、地域を対象にした看護を実践する。地域で生活している人々は、様々な社会資源に支えられている。2025 年問題、2040 年問題の背景にある人口構造の変化、社会のニーズの変化を的確に捉え、地域・在宅看護を必要とする社会背景とそれを支える諸制度についての理解を深める。地域・在宅看護の目的とその必要性の理解し、地域・在宅における健康の保持・増進、疾病の予防、健康の回復、または人生の完成としての能き死を支える看護の基盤を学ぶ。 | | | | | | | | | |
| 科目目標 | 1. 地域および地域で生活する人びとの理解ができる 2. 地域・在宅看護が必要になる背景を理解できる 3. 地域・在宅看護の目的や特徴を理解できる 4. 地域・在宅療養を継続するための地域包括ケアシステムと在宅療移行支援を理解できる | | | | | | | | | |
| テキスト | 1. 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基礎 医学書院 2. 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実践 医学書院 | | | | | | | | | |
| 参考文献 | 1. 医療福祉総合ガイドブック 医学書院 2. 国民衛星の動向 | | | | | | | | | |
| 評価方法 | 詳細は別紙「評価計画」参照 | | | | | | | | | |
| | 筆記 | ○ | レポート | | 口頭試問 | | 授業態度 | | 出席状況 | ○ |
| 学修に向けたメッセージ | 地域・在宅看護の対象は地域で生活するすべての人びとが対象です。あらゆるライフサイクルにあり、健康レベルも様々で多様な価値観を持っています。看護の場は病院（施設）だけでなく、地域包括ケアシステムの考え方のもと、人びとの健康の保持・増進、疾病の予防、早期発見・早期治療が可能となる社会の実現が必要不可欠です。2050 年には人口減少し、人口が 1 億人を下回ります。2050 年の看護を担う皆さんに地域・在宅看護論の講義で地域でよりよく生きるとはどのようなことであるか考えるきっかけにしてほしいと思います。 | | | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | | | | |
| 回数 | 講義内容 | | | | 教授・学習方法 | | 担当講師 | | | |
| 1 | 1. 地域・在宅看護が必要となる社会背景と在宅看護の変遷 1) 地域・在宅看護が必要となる社会背景と根拠 (1) 人口構成の変化 (2) 国民の健康観・価値観 (3) 在宅医療・介護の動向と社会保障費用の現状 2) 在宅看護の変遷 | | | | 講義 | | 活水女子大学 講師 山口 善子 | | | |

| | | | |
|---|---|--------|-----------------------|
| | (1)在宅医療・在宅看護のしくみ (2)在宅看護の変遷 | | |
| 2 | 2. 地域・在宅看護の定義・目的 1)地域・在宅看護のめざすもの (1)地域・在宅看護が提供される場 (2)QOLの維持向上 | 講義 | 活水女子大学 講師 山口 善子 |
| 3 | 3. 地域・在宅看護の対象 1)地域 2)地域で生活する人びと（ライフサイクル） 3)地域で生活する人びとの健康レベル 4)多様な生活の場 | 講義 | 名古屋 市立大学 井上 高博 |
| 4 | 4. 地域・在宅看護を支える制度 1)介護保険制度 | 講義 | 名古屋 市立大学 井上 高博 |
| 5 | 4. 地域・在宅看護を支える制度 2)訪問看護制度 | 講義 | 名古屋 市立大学 井上 高博 |
| 6 | 8. 地域・在宅看護における倫理的課題 1)在宅療養者・家族の権利保障 (1)自己決定権 (2)情報管理 (3)成年後見制度 (4)虐待の防止 2)療養者を抱える家族に及ぼす影響 (1)認知症高齢者 (2)介護負担による引き起こされる問題 | 講義 | 名古屋 市立大学 井上 高博 |
| 7 | 9. 地域・在宅看護における看護師の役割と地域包括 ケアシステム 1)地域包括ケアシステムにおける他職種・多職種連携 2)地域包括ケアシステムにおける在宅移行支援 | 講義 | 活水女子大学 講師 山口 善子 |
| 8 | 終講試験 | 試験（評価） | 単位認定者 山口 善子 |

| 分野 | 専門分野 | 科目名 単位(時間) | 地域・在宅看護方法論 I 1 単位(15 時間) | 授業 形態 | 講義 演習 | 開講 時期 | 1 年 前期 | | | |
|-------------|--|---------------|-----------------------------|----------|----------|----------|---------------|--|------|---|
| 講師名 所属 | 岩谷 望美 嬉野医療センター附属看護学校 専任教員 実務経験:看護師 10 年 | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 地域の特徴、地域で生活する人びとの暮らしを理解するために、嬉野市内等で生活する人びとにインタビューを行い考察する。地域で生活する人びとの健康問題を理解し、地域でどのような健康施策や事業が行われているか学びを深める。地域包括ケアシステムを理解し、地域で生活する人びとがあらゆる社会資源に支えられ生活していることを理解する。また、地域包括ケアシステムにおける看護師の役割と社会資源の活用について理解を深める。近年、自然災害が多発しており地域住民の安全確保やリスクマネジメントが重要である。嬉野市の地域特性や地域防災について理解を深める。 | | | | | | | | | |
| 科目目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の特徴、地域で生活する人々の暮らしが理解できる 2. 地域で生活する人々の健康課題が理解できる 3. 地域包括ケアシステムにおける看護の役割および社会資源について理解できる 4. 嬉野市の地域特性と防災活動の実際を理解できる | | | | | | | | | |
| テキスト | <ol style="list-style-type: none"> 1. 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基礎 医学書院 2. 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実践 医学書院 | | | | | | | | | |
| 参考文献 | 必要に応じて授業中に紹介する | | | | | | | | | |
| 評価方法 | 詳細は別紙「評価計画」参照 | | | | | | | | | |
| | 筆記 | ○ | レポート | ○ | 口頭試問 | | 授業態度 | | 出席状況 | ○ |
| 学修に向けたメッセージ | 地域で生活する人々がどのような暮らし（生活）をしているのか、実際に地域に出向きインタビューを行います。地域（嬉野市）を知り、地域で生活する人々に興味関心を向け、人々の暮らしと健康の密接なかかわりを深く考察する機会にしてほしいと思います。嬉野市で学ぶ看護学生として、嬉野市民の健康の保持・増進のために何ができるかを考えてほしいと思います。 | | | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | | | | |
| 回数 | 講義内容 | | | | 教授・学習方法 | | 担当講師 | | | |
| 1 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域で生活する人びとと暮らしの理解 <ol style="list-style-type: none"> 1) 地域（嬉野市）に出向き、生活する人びとにインタビューをおこない、地域の特徴や暮らしの様子を理解する。 | | | | 講義・演習 | | 専任教員 岩谷 望美 | | | |
| 2 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域で生活する人びとと暮らしの理解 <ol style="list-style-type: none"> 2) 出身地の地域の特徴や暮らしの様子を理解する。 演習課題：嬉野市および出身地の地域の特徴と生活する人びとの暮らし | | | | 演習 | | 専任教員 岩谷 望美 | | | |
| 3 | <ol style="list-style-type: none"> 2. 生活の場と健康支援 <ol style="list-style-type: none"> 1) 学校 2) 職場 3) 病院（施設） 4) 家庭 | | | | 講義 | | 専任教員 岩谷 望美 | | | |

| | | | |
|---|--|-------------------|----------------|
| | 5) 地域（コミュニティ） | | |
| 4 | <p>3. 嬉野市の健康づくりの目標と取り組み</p> <p>1) 市民の健康問題把握</p> <p>2) 市民の健康ニーズの抽出</p> <p>3) 健康支援活動（健康づくり）</p> <p>4) 嬉野市の健康に関する地域の特徴から看護学生としてどのような健康支援活動（健康づくり）に参画することができるか企画する</p> | 講義・演習 | 専任教員 岩谷 望美 |
| 5 | <p>3. 嬉野市の健康づくりの目標と取り組み</p> <p>5) 健康支援活動（健康づくり）の企画のプレゼンテーション</p> <p>(1) 対象に応じた健康支援活動</p> <p>(2) 継続しやすさ、使いやすさ</p> | 演習 (プレゼンテーション) | 専任教員 岩谷 望美 |
| 6 | <p>4. 嬉野市の特徴と防災</p> <p>1) 嬉野市の人口構造</p> <p>2) 嬉野市の地域の特徴</p> <p>3) 嬉野市の人口構造と地域の特徴からみる防災の特徴</p> | 講義・演習 | 専任教員 岩谷 望美 |
| 7 | <p>5. 嬉野市の特徴と防災</p> <p>1) 地域防災の実際</p> <p>2) ハザードマップの理解</p> | 講義・演習 | 専任教員 岩谷 望美 |
| 8 | 終講試験 | 試験（評価） | 単位認定者 岩谷 望美 |

| 分野 | 専門分野 地域・在宅看護論 | 対象学年 | 1年 | 開講時期 | 前期 | | | | | | | | | | |
|--|--|------------|------------|------|----|------|------|---------------------------|--|-------------------------------|--|---|--|---|--|
| 科目 | 地域・在宅看護論実習 I | 単位 (時間) | 1単位 (45時間) | | | | | | | | | | | | |
| 単位認定者 所属 | 岩谷 望美 嬉野医療センター附属看護学校 専任教員 実務経験:看護師 10年 | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>実習目的・目標： 地域で生活する人々と暮らし、地域コミュニティ活動、健康支援活動（健康づくり）を理解する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>実習の概要</p> <p>地域・在宅看護論実習 I では、地域および地域で生活する人びとを理解するために、地域で生活する人びとの生活の場に赴き実習を行います。どのような人々が、どのような場所で、どのような健康観（価値観）をもちながら生活をしているのか、生活の実際を見学や一緒に実施したり、インタビューを通して地域や地域で生活する人びとを深く学ぶ。</p> <p>また、地域および地域で生活する人びとの健康問題に焦点を当てて、嬉野市での健康支援活動（健康づくり）、介護予防事業などの実際を学ぶ。地域を嬉野市とその近隣に絞り込み、地域の特徴や資源を活用し地域で生活する人びとの健康問題や地域包括ケアシステムによる支え合いと地域住民の健康ニーズや生活の多様性に応じた看護の提供について学ぶ。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>実習計画</p> <p>1. 実習目標および実習内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実習目標</th> <th>実習内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 地域および地域で生活する人々の理解ができる。</td> <td>1) 地域で生活する人びとの理解 (1) あらゆるライフサイクル (2) あらゆる健康レベル (3) 多様な場</td> </tr> <tr> <td>2. 地域の特徴、地域で生活する人々の暮らしが理解できる。</td> <td>1) 嬉野市と特徴 (1) 人口構成 (2) 生活の場 (3) 働く場 (4) 学習の場 2) コミュニティとコミュニティ活動の実際</td> </tr> <tr> <td>3. 地域包括ケアシステムにおける看護の役割および社会資源について理解できる。</td> <td>1) 地域包括ケアシステムにおける社会資源の活用 (1) 自助・互助・公助・共助 2) 地域包括ケアシステムにおける看護者の役割 (1) 地域で活躍する他職種 (2) 他職種・多職種連携の実際</td> </tr> <tr> <td>4. 地域で生活する人びとの健康問題を理解し、健康支援活動・介護予防活動の特徴を理解する。</td> <td>1) 地域および地域で生活する人びとの健康問題 2) 地域で行われる健康支援活動（健康づくり）の実際 3) 地域で行われている介護予防活動の実際</td> </tr> </tbody> </table> <p>詳細は実習要項参照</p> | | | | | | 実習目標 | 実習内容 | 1. 地域および地域で生活する人々の理解ができる。 | 1) 地域で生活する人びとの理解 (1) あらゆるライフサイクル (2) あらゆる健康レベル (3) 多様な場 | 2. 地域の特徴、地域で生活する人々の暮らしが理解できる。 | 1) 嬉野市と特徴 (1) 人口構成 (2) 生活の場 (3) 働く場 (4) 学習の場 2) コミュニティとコミュニティ活動の実際 | 3. 地域包括ケアシステムにおける看護の役割および社会資源について理解できる。 | 1) 地域包括ケアシステムにおける社会資源の活用 (1) 自助・互助・公助・共助 2) 地域包括ケアシステムにおける看護者の役割 (1) 地域で活躍する他職種 (2) 他職種・多職種連携の実際 | 4. 地域で生活する人びとの健康問題を理解し、健康支援活動・介護予防活動の特徴を理解する。 | 1) 地域および地域で生活する人びとの健康問題 2) 地域で行われる健康支援活動（健康づくり）の実際 3) 地域で行われている介護予防活動の実際 |
| 実習目標 | 実習内容 | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. 地域および地域で生活する人々の理解ができる。 | 1) 地域で生活する人びとの理解 (1) あらゆるライフサイクル (2) あらゆる健康レベル (3) 多様な場 | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 地域の特徴、地域で生活する人々の暮らしが理解できる。 | 1) 嬉野市と特徴 (1) 人口構成 (2) 生活の場 (3) 働く場 (4) 学習の場 2) コミュニティとコミュニティ活動の実際 | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 地域包括ケアシステムにおける看護の役割および社会資源について理解できる。 | 1) 地域包括ケアシステムにおける社会資源の活用 (1) 自助・互助・公助・共助 2) 地域包括ケアシステムにおける看護者の役割 (1) 地域で活躍する他職種 (2) 他職種・多職種連携の実際 | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. 地域で生活する人びとの健康問題を理解し、健康支援活動・介護予防活動の特徴を理解する。 | 1) 地域および地域で生活する人びとの健康問題 2) 地域で行われる健康支援活動（健康づくり）の実際 3) 地域で行われている介護予防活動の実際 | | | | | | | | | | | | | | |

2. 実習施設

1) 地域や地域で生活する人びとと暮らしの理解

- ・ 嬉野市内：地域行事への参加、インタビュー等
- ・ 福祉体験学習サポート
- ・ シルバー人材センター または ごましお健康クラブ

2) 地域コミュニティ活動の実際

- ・ 放課後児童クラブ
- ・ 介護予防事業：いきいきデイサービス事業 または 家族介護者交流事業

3) 地域の健康支援活動の場と健康支援活動の実際

- ・ 老人福祉センター
- ・ こども食堂
- ・ 佐賀ユートピアスポーツクラブ

履修条件

学則細則第3章第12条

専門分野の授業科目について単位履修ができていない者は学習の順序性から当該科目の実習を履修できないことがある。(詳細は履修規程や履修要項を参照)

参考文献

1. 国民衛生の動向
2. 国民の福祉と介護の動向
3. 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論の基礎 医学書院
4. 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論の展開 医学書院
5. 厚生労働省ホームページ 在宅医療の推進について

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000061944.html>

評価方法

実習出席状況、実習内容、評価基準に基づき評価する。(実習要項・実習要領・評価基準参照)